

2025 年度

学生協働支援隊 西条地域

地域マップのデジタル化

1. 背景と目的

● 背景

西条は東広島市の中でも都市化が進んだ地域であり、住民構成も多様で、転入者や学生、一人暮らしの若者などが多く見られる。市街地には分譲・賃貸マンションが多数あり、戸建住宅よりも集合住宅に住む人が多いエリアである。これにより、地域のつながりや町内会活動への参加率が比較的低くなる傾向がある。このような背景から、住民同士の顔が見えにくく、防災や見守りといった地域活動が十分に行き届きにくい課題がある。住民や学生が協力してマップを作成・更新するプロセス自体が、地域への関心を高め、顔の見える関係づくりにつながる。マンション住まいの人や転入者にとって、地域の情報は得にくいものだが、デジタルマップがあれば、地域活動への参加や、近隣とのつながりの第一歩となる可能性がある。

このことを踏まえ、デジタルツールに親しみのある学生協働支援隊が西条地域の自治会長が紙に書き起こしたマップをデジタル媒体に落とし込む。

自治協として、これから先の地域活動を担う住民が話し合うための基礎資料を作成する。

● 目的

自治会の区域を明らかにし、デジタル上に落とし込むことを目的に、自治協だけでは作成が困難であるデジタルマップの制作を学生協働支援隊が支援する。

2. 実施概要

（事前相談期間）

2024年10月28日 コーディネーターと地域側でマップ化の事前相談

2024年11月14日 コーディネーターと地域側でマップ化の事前相談

コーディネーターによるツールの提案（デジタウン）

（事業実施）

2024年11月25日 自治会長との自治会区域線引き作業

2024年12月1日 自治会長との自治会区域線引き作業

2024年12月 学生によるマップ反映

2025年1月 地域側で確認修正

2025年3月7日 学生によるマップ反映

2025年3月10日 学生によるマップ反映

2025年3月18日 マップの提出及びマップ修正作業

～自治協によるマップ確認期間（自治会長含む）

2025年4月 コーディネーターによるマップ修正及び印刷作業

2025年5月総会 参加準備

（事業終了）

2025年5月

3. 実施結果

事務局と自治会長に協力してもらうことで、西条地域の区域が明らかになった。また、学生協働支援隊が明らかになった区域をデジタル上に落とし込むことで、デジタル化された自治会マップが完成した。

【自治会長との西条マップ作成】

【日時】2024年11月25日（月） 17:30~18:00

【場所】市民協働センター

【参加者】合計12名（学生1名、コーディネーター3名、地域8名）

【実施内容】

西条中央地域の各自治会が区分けされた詳細なマップを制作するために、自治会長の方々に各自治会の範囲を印刷した地図に記入する作業を行った。



マップの線引き作業をしている様子

● 今後に向けて

地図に記入していただいた情報を元に、学生が各自治会の情報をデジタル上に反映する作業を行うことになった。

【当日の感想】

- ・自分の自治体についてはよく知っているが、他の自治体になると全然分からないという方が多かったのが印象的だった。
- ・「線引き作業をするにあたって、自治会の範囲にある家だが、所属はしていない家庭が多く、自治会の悩みになっているという話を聞き、驚いた。

【自治会長との西条マップ作成】

【日時】2024年12月1日（日） 15:30~16:00, 17:00~17:30

【場所】市民協働センター

【参加者】合計24名（学生3名、コーディネーター1名、地域20名）

【実施内容】

西条地域の詳細なマップを制作するために、自治会長の方々に各自治会の範囲を印刷した地図に記入して頂いた。



自治会長が担当する自治会の範囲を記入している図

● 今後に向けて

地図に記入して頂いた情報を元に、学生が地域情報をデジタル上に反映する作業を行う事になった。

【当日の感想】

- ・西条に住んでいるが、自治会でたくさん分けられていることは知らなくてびっくりした。また、たくさん分けられているが故にいくつかの自治会は線引きが分からないところもあったのが印象的だった。
- ・自治会に所属している人はわかっても、地図上で表現することがなかったため、苦労している方がおられた。「その点で、なかなか難しい作業だったのだと思った。マップ作りの目的が十分に理解されていない様子もあり、完成形が示されるとより分かりやすいのではないかと思った。」
- ・前回の風早地区とは全く違う地域区分で驚いた。風早より細かく複雑な自治会区分だったので、マップを作成したら役立てられる機会が多いのではないかと思った。

【デジタルマップ作成と修正作業】

【日時】2024 年 12 月～3 月

【場所】市民協働センター・西条住民自治協議会

【作業者】学生協働支援隊 3 名

【内容】

- 地図に記入して頂いた情報を元に、学生が地域情報をデジタル上に反映する作業を行った。地域側と随時調整をしながら地域を色分けをする作業を進めた。
- 今後に向けて
4 月西条自治協議会の役員会で地域の中での最終調整、5 月の総会で地域にお披露目をして随時地域の中で活用していく。地域住民の知識が地図に反映され、共有可能な資料となった。地域活動の基盤が整理され、今後の防災や見守り活動に活用できる成果が得られた。